

第5回砂川市総合計画審議会 議事録

日 時：令和2年4月28日 午後3時00分から午後4時00分

場 所：砂川市役所 3階 大会議室

出席者：

【審議会委員（会長、副会長、以下五十音順 敬称略）】

会長 其田勝則、副会長 岡本昌昭、石家裕二、河端一壽、北市裕之、久保敬介、熊谷仁美、瀬戸敏子、高村雄渾、坪江利香、松原重俊、明円 亮、山崎義彦、
欠席者：大橋俊彦、齊藤邦宏、佐々木孝一、佐藤大将、高西浩未、中道盛之、
八戸めぐみ、山田 巖

【砂川市関係者】

総務部長 熊崎一弘、市民部長 峯田和興、保健福祉部長 中村一久、経済部長 福士勇治、
建設部長 近藤恭史、建設部技監 小林哲也、教育次長 河原希之、
市立病院事務局長 朝日紀博、市立病院事務局次長 山田 基、
市立病院事務局審議監 渋谷和彦、消防長 青木 治、消防本部次長 袖野款司

【事務局】

政策調整課長 井上 守、政策調整課長副審議監 玉川晴久、
政策調整課長補佐兼企画調整係長 谷地雄樹、政策調整課企画調整係主任 藤田美穂、
政策調整課企画調整係主事 長谷川 亮、政策調整課企画調整係主事 高橋宏輔

1. 開会

総務部長：皆様、本日は大変御多忙のところ、御出席いただき誠にありがとうございます。このような時期でありますので、予防には十分注意しながら会議を進めていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。それでは、ただいまから、第5回砂川市総合計画審議会を始めます。

2. 会長挨拶

総務部長：それでは、はじめに会長からご挨拶をお願いいたします。

会 長：皆様大変ご苦勞様です。他の会議は軒並み書面や中止となっておりますが、

総合計画については7月に答申するという目標がありますので、そのスケジュールに沿って開催という形になってしまいます。全員がマスクをしているという異様な光景の中での会議ですけれども、皆さん罹患しないよう、そして審議がスムーズに進むよう進行してまいります。今北海道は第2波がきておりまして、ゴールデンウィーク後にどうなるかというところを皆さん注目しているのではないかと思います、終息していくことを心から願っております。そのような中での会議ですが、本日はよろしく願いいたします。

総務部長：ありがとうございました。本日は、委員 21 名中、現在のところ 13 名の出席をいただいておりますので、会議は成立しておりますことをご報告いたします。会議の議長は、会長にお願いしたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

3. 議事

(1) 協議事項

会 長：それでは、次第に沿って進めて参ります。はじめに、(1) 協議事項ですが、①「基本目標（案）について」ということで、前回も一部議論した部分のまとめでございます。それでは、事務局から説明をお願いします。

事 務 局：それでは、協議事項の①「基本目標（案）について」ご説明します。資料は、資料1、資料2、資料3になります。

この基本目標の協議につきましては、前回の第4回審議会において提案し、委員の皆さまから、基本目標として、お考えになられているフレーズなどをお伺いいたしました。そのいただいたフレーズや、これまで実施してきた市民アンケートなどで収集したキーワード、各部会で議論した基本施策や基本事業の協議内容などを基に、「たたき台」として、基本目標（案）を整理させていただきました。本日はこのたたき台を参考に、ご審議いただきたいと思っております。

それでは、内容についてご説明します。まず、資料の説明をします。資料1をご覧ください。資料1については、基本目標の分野（項目）ごとに、6つに分けて整理しています。それぞれ、矢印の右側の表記部分になりますが、一番上に検討の参考にしたキーワード、次に事務局で検討したフレーズ、次に委員から出されたフレーズ、一番下の太字が最終的な案となっております。続きまして資料2をご覧ください。資料2については、基本目標を文章化したものです。左側が第6期総合計画、右側が第7期総合計画になります。内

容については、基本目標の分野に関連する基本施策の目標などを参考に、基本目標で取り組む方向性を示す内容となっています。

次に資料3をご覧ください。資料3については、6つある基本目標の並び順をご検討いただく資料であります。それでは、6つの基本目標について、「生活環境・防災」から順に、設定したフレーズについて、ご説明したいと思います。資料1と資料2を2つ横に並べて、ご覧いただければと思います。

まず、「生活環境・防災」の分野につきましては、『安全でやすらぎのあるまち』としました。まず、「安全」についてであります。この分野の施策範囲は非常に広く、ゴミ処理などの衛生環境、省エネなどの地球環境、交通安全・防犯・防災減災対策など、ここで取り組むことは、生活全体の「安全」につながることから「安全」を用いたところですが、次に「やすらぎ」についてですが、安全で快適な環境の下で、安心して暮らせることにより、個々の気持ち「安らぐ」と考え、「安らぎ」を用いております。

「医療・保健・福祉」の分野につきましては、『健やかに安心して暮らせるやさしいまち』としました。まず、「健やか」については、子どもが健やかに育つこと、大人は健康に気を配ることなど、健康な暮らしが第一であることから「健やか」を使っております。次に「安心」については、日頃から適切な保健・医療・福祉・介護サービスを受けられる環境が整い、特に医療面では「安心」できる体制であることから「安心」を使っております。「やさしい」については、地域の高齢者見守りなど、地域福祉の充実から「やさしい」を使っております。

「教育・文化・スポーツ」の分野につきましては、『豊かな心と学ぶ力を育むまち』としました。こちらは、砂川市教育目標から引用しております。

「都市基盤」の分野につきましては、『自然と調和した快適で住みよいまち』としました。まず、「自然と調和」については、子どもの国をはじめ、北光公園、オアシスパークなど、多くの自然と街並みのバランスの良さから「自然と調和」を使っております。次に、「快適で住みよい」については、高速道路、鉄道、道路網などの利便性の高い都市機能が整い、自然も多く、街並みもきれいであることから「快適で住みよい」を使っております。

「産業」の分野につきましては、『活力にあふれにぎわいのあるまち』としました。「活力・にぎわい」については、産業振興を図ることにより、会社・人が元気になって、まち全体に「活力」と「にぎわい」が生まれることから「活力」と「にぎわい」を使っております。

「市民参画・コミュニティ・行政運営」の分野につきましては、『協働と支え合いによる持続可能なまち』としました。「協働」については、市民と行政との対等なつながり、協働のまちづくりは今後も重要なことから「協働」を使

っております。「支え合い」については、同じく、地域における住民同士の支え合い・助け合い、共助の考えが重要なことから「支え合い」を使っております。「持続可能」については、今後も人口減少が続く中で、限られた財源の下、創意工夫しながら自立したまちづくりを市民と共に進めていくことから「持続可能」を使ったところ です。説明は、以上です。

会長：ただいま、事務局から説明がありました。前回の会議をもとに、基本目標をまとめていただいたのが資料1でございまして、資料2ではその説明文についてまとめられているようです。

それでは一つ一つ伺いたいと思います。まず、「生活環境・防災」についてであります。「安全でやすらぎのあるまち」という基本目標について、ご意見等ありませんか。

～ 質疑等無し ～

会長：次に、「医療・保健・福祉」についてであります。「健やかに安心して暮らせるやさしいまち」という基本目標について、ご意見等ありませんか。

～ 質疑等無し ～

会長：次に、「教育・文化・スポーツ」についてですが、こちらは教育目標と同じ、「豊かな心と学ぶ力を育むまち」ということで決定されておりますので、とばします。

続きまして、「都市基盤」についてであります。「自然と調和した快適で住みよいまち」という基本目標について、ご意見等ありませんか。

～ 質疑等無し ～

会長：続いて、「産業振興」であります。「活力にあふれにぎわいのあるまち」という最終案が出ておりますが、これについてご意見等ありませんか。

～ 質疑等無し ～

会長：それでは最後になりますが、「市民参画・コミュニティ・行政運営」であります。「協働と支え合いによる持続可能なまち」という基本目標について、ご意見等ありませんか。

委員：「持続可能」以外にいい言葉はないのでしょうか。

事務局：「持続可能」という言葉については、地方創生の関係でも謳われておりますが、これから人口減少していく中であっても、持続可能なまちづくりを進めていきたいと思いますということで使われておまして、今回「持続可能」という言葉を使わせていただいたところです。

会長：「持続可能」という言葉は硬そうなイメージがあるから、もう少し柔らかくということでしょうか。

委員：「持続可能」は現実的な話だと思うので、未来へつなぐとか、次世代につなぐといった言葉のほうがいいのかなと思ったところです。

会長：「市民参画・コミュニティ・行政運営」については「持続可能」という部分を検討するというので、「生活環境・防災」から「産業振興」までは意見がありませんでしたので、この点については最終案で決定してよろしいでしょうか。

～ 委員の了承 ～

会長：最後の「市民参画・コミュニティ・行政運営」については、「持続可能」という言葉が引っ掛かるという意見がありましたので、一度持ち帰らせていただいて、相談して決めるということで事務局よろしいでしょうか。

事務局：「持続可能」につきましては、今後 10 年の中で我々がキーワードにしていた文言でございまして、SDGs の考え方が入りますと、それは持続可能なまちづくりということにもなってきます。それと財政的な裏付けがあるということもキーワードの 1 つかなと思っています。それから人口減少という部分で、何も施策をうたないと 2060 年には 8,000 人ぐらいになるところを 10,800 人にし、2030 年には 15,000 人にするというのを考えております。消滅可能性都市という言葉もありますけれども、そういったことからすれば何とか持ちこたえていきたいというのが事務局の考え方でございます。これにつきましては、経済の部分でも「持続可能」という言葉は入ったのですが、やはり総務関係といいますか、財政関係のところでも「持続可能」という言葉を使わせていただきました。もし、これに代わるフレーズが皆さんの中であれば、この場でご協議いただきたいと思いますと思っております。

- 会 長：日本中で消滅可能性都市と言われている中で、砂川市として残っていくんだという強い意志が感じられましたが、「持続可能」に代わる言葉はございませんか。
- 委 員：「持続可能」ということは現状維持でしかないという感覚になってしまう。10年ということとは未来ですから、そういうものにつながる何かがあったほうがいいのかという考えです。
- 委 員：前回事務局からSDGsの説明があり、次の計画の中でこれを進めていくということでしたが、「持続可能」という言葉は、世界的な目標の中の言葉なので、特に硬いとは思わなかったですし、これをそのまま使ってもいいのではないかと思います。
- 委 員：「市民参画・コミュニティ・行政運営」だけが「持続可能」ということではないと思うので、別の言葉の方がいいのかと思いました。
- 会 長：「持続可能」という言葉は産業振興の方でも出てきていて、現状維持というよりは、未来に向かって残っていくんだという表現かなという気がします。
- 委 員：私の感覚ですけれども、人口減少は切迫していて、これからまちがなくなっていく10年間に直面するような気がするので、現状維持と言えばそれまでですが、それぐらい現状維持するのが難しい時代なんだと考えると、明確に持続可能と言っても問題ないような気がします。
- 会 長：他に持続可能に変わる言葉について提案等ございませんか。
- 委 員：言葉については何がいいのかは思いつきませんが、「持続可能」という言葉は切羽詰まったような印象があって、後ろ向きなイメージにならないかなと思っています。
- 会 長：「持続可能」というのはSDGsの方で関わってきていて、そこに「持続可能」という言葉は必ずついてくるので、それを使ったということだと思いますが、これに代わるいい言葉がないか模索していきたいと思います。
他に意見がないようであれば、事務局の方で一度預かりという形にしませんか。

事務局：まさに意見が割れたところだと思います。おっしゃる通り、私どもも持続可能なかということではありますが、切迫した状況ということもありますので、このタイトルを頭出ししてみました。ただ、もう少し時間をいただいて検討を重ねながら、適切な言葉が見つければ次回紹介させていただいて、見つからなければもう一度ご協議いただくかもしれませんが、よろしく願いしたいと思います。

会長：基本目標の説明の中には、持続可能なまちを目指していきますと明確に表現していますので、基本目標としては前向きな表現にした方がよいというのが先ほどの意見かと思っておりますので、「市民参画・コミュニティ・行政運営」については再度検討させていただきます。基本目標については以上になります。それでは、続きまして、資料3「基本目標の並び順について」事務局から説明をお願いします。

事務局：それでは、資料3についてご提案いたします。資料3をご覧ください。資料の左側が、第6期総合計画の基本目標です。右側が、先ほど承認いただいた、第7期総合計画の基本目標になりますが、点線四角内に記載している数字が、案として提案させていただく順位となっております。

順位付けの考え方としては、今後のまちづくりにおける各分野の優先度と重要度を総合的に勘案したものです。1番が「医療・保健・福祉」、2番が「生活環境・防災」、3番が「教育・文化・スポーツ」、4番が「産業振興」、5番が「都市基盤」、6番が「市民参画・コミュニティ・行政運営」と考えております。6計の順位で見ますと、1番と2番が入れ替わり、4番と5番が入れ替わり、3番と6番が変更なしといった形になります。

順位を変更した理由ではありますが、1番の「生活環境・防災」と2番の「医療・保健・福祉」を入れ替えて、「医療・保健・福祉」を1番とした理由は、今後の人口減少・少子高齢化という諸課題を克服するまちづくりに向けて、子育て支援や高齢者対策などの福祉施策、更には、地域医療を担う市立病院の役割や医療連携など、これまで以上に医療・福祉分野の充実が必要であり、市民の安心した生活を支える上で、最も重要な分野と考えたためです。

次点とした「生活環境・防災」についても、引き続き災害に強いまちづくりが重要なこと、また、環境面においても、新しい市役所庁舎では地中熱を利用した冷暖房を設置し、地球環境に配慮にも取り組むなど、地球環境問題は積極的に取り組まなければいけない分野であることから、重要度は高い分野と考えたものです。

4番の「都市基盤」と5番の「産業振興」を入れ替えて、「産業振興」を4番

とした理由につきましては、近い将来、中心市街地が様変わりしますので、そこから生まれる新たな活力と賑わいを契機に、中心市街地のみならず、まち全体を活性化させるような施策の展開が期待されるため、順位を上げたところではあります。

順位を下げた「都市基盤」については、道路、水道、下水道などのインフラ整備は、ほぼ終わっております。また、平成27年には高速道路にスマートICが設置され、都市間交通網も充実しています。今後は、施設設備の維持保全が中心となるため、順位を下げたところではあります。

3番の「教育・文化・スポーツ」と6番の「市民参画・コミュニティ・行政運営」については、そのままの位置付けにしております。

6番の「市民参画・コミュニティ・行政運営」については、「市民参画・コミュニティ」だけであれば、もっと上位でもよいのですが、「行財政運営」が一緒であるため、引き続き6番としています。

- 会長：ただいま事務局から、並び順について説明がありました。どれも大事な部分ではあります。7期に向けて力を入れていく順番付けなのだと思います。だからといって6番が大事ではないということではありません。全部大事なのですが、やはり砂川市は医療福祉という部分を1番に持って行って、第7期を迎えたいというところだと思います。
- 並び順について、皆さんの方からご意見ご質問等ありませんか。

～質疑等無し～

- 会長：ないようであれば、この順番で決定させていただきますのでよろしくお願ひします。
- 続きまして、②「砂川市のめざす都市像（案）について」。都市像（案）は基本目標の上であり、この第7期のテーマのようなものになるかと思うのですが、事務局から説明をお願いします。

- 事務局：資料4をまずご覧ください。「めざす都市像」の設定につきましては、砂川市が10年後にめざすまちの姿を現すもので、まちの良いところ、伸ばしていきたいところ、誰もが共有できる可能性などをイメージして表現するフレーズになります。2として、これまでの「めざす都市像」を掲載していますが、第6期総合計画における「めざす都市像」については、皆さんご承知の「安心して心豊かに いきいき輝くまち」でございます。今回はこの「めざす都市像」を皆さんと協議していこうと思っております。この「めざす都市像」につい

ては、昨年10月10日に開催した、第3回審議会において、一度、協議事項として提案させていただき、委員の皆さまから、思い・考えをすでに伺っております。その内容につきましては、資料3ページに「第3回総合計画審議会・委員意見」として掲載しています。この資料につきましては、他にも、1ページ下段から3ページ上段にかけて、市民意見の募集、市民アンケート、子どもワークショップなどから収集した市民の将来像に対するイメージやキーワードを掲載しています。3ページの下段から4ページにかけては、たくさんのキーワードの中から特に使われているようなキーワードを抜き出しています。このキーワードを基にし、委員の皆さんの意見を参考にしながら、事務局の方で4ページ以降のフレーズを案として作成しております。こちらは、あくまでもたたき台として作った案ですので、1から12の中から1つを選んで「めざす都市像」とするというものではありません。参考にしながら、文言を変えながら、皆さんで協議してどのフレーズが良いのか、どの言葉が良いのかを考えていただければと思います。

⑦以降については、事務局で言葉の組み合わせを変えながら作成しましたが、第5期総合計画と第6期総合計画で使われている言葉が含まれていました。ですので、⑦以降につきましては、言葉が重複するというので、今のところは案からは外そうと思っています。こちらについては、協議の中でこれまで使った言葉も使って良いのではないかなということになれば、使っていきたいと思っています。

まずは、事務局の案としては、①から⑥までを提示しているところですが、①から⑥については、それぞれイメージがございます。

事務局として考えているイメージとしては、①と②は若干静かな感じがするのかなというフレーズになっています。③と⑥は静かでありながらも若干前向きな言葉も使っているというイメージを持っています。④と⑤は前向きすぎると言いますか、ちょっと前のめりになっているようなフレーズになっています。このように色々な書き方がありますので、どのようなフレーズが良いのか、本日皆さんがお考えになられているフレーズも出していただきながら、「めざす都市像」を検討していきたいと思いますので、よろしくお願いたします。

会長：事務局の方で市民アンケートや皆さんが発言したことについてキーワードを出してもらい、文章的なものを色々作ってもらいました。先ほど言ったように、⑦以降は5期、6期で使われている文言ということで、主に①から⑥についてどうでしょうかということひねり出してくれた案でございます。この中から選ぶという訳ではなくて、これを参考にして第7期の「めざす都市

像」を皆さんの意見で作りに上げていきたいなと思います。これをたたき台として、皆さんからご意見をいただきたいのですが、ご発言ございませんか。

委員：これを見させていただいて、先ほど皆さんが話した順番等も含め、⑥の「やさしさと笑顔あふれ 未来をひらくまち」が良いのかなと思いました。優しさを持ってきたのは、医療に特化している、今回一番力を入れる部分ということで良いかなと思ったのですが、⑧の「輝く」というフレーズが私は好きなので、⑥と組み合わせて「やさしさと笑顔輝く 未来をひらくまち」が良いのではないかと思います。以上です。

会長：「笑顔」と「やさしさ」がキーになっているということですね。他にございませんか。

委員：ここにあるものを色々混ぜ合わせたのですが、「自然な笑顔」という言葉がすごく良いなと思ったので、「自然な笑顔があふれ ともに明るい未来をひらくまち」。②と⑥を混ぜたような感じです。笑顔があふれるまちが良いなと思いますし、ただあまり大人しい感じだとあれなので、未来に向けて前向きな言葉を入れた方が良いかと。

会長：②と⑥を混ぜた感じですね。他にございませんか。

委員：単純にいくと、①か②がずっと入ってくる感じだなと見ていましたが、コロナがあったり、10年間における子ども達のことを考えると、学校が統合して新たな動きが出てくると思うので、未来という言葉が入っているとすごく良いなと思います。この中で見ていくと、「未来をひらく」というフレーズを使っているのと、未来、やさしさ、笑顔を含んだフレーズが良いなと思うので、私としては⑥が良いなという印象です。

会長：①から⑥までありますが、やはり10年後の未来に向かって発信するようなフレーズというと、③、④、⑤、⑥というところになるのかなと。「未来をひらく」や「未来へ歩む」など。①、②は現状の環境を気持ちの良い環境にするということで、未来について語っていない。将来的にどういう風になりたいということを語るのであれば、皆さんの言うように、③、④、⑤、⑥をうまくまとめるのが良いのかなという気がします。他にございませんか。

委員：①から⑥までがどうということではないのですが、言葉としては、やさしさ、

明るさ、未来という3つの言葉は離せないのかなという気がします。

会長：大体この辺でまとめるしかないですね。全部入れるとしつこくなるので。ただ、やさしさや、未来に向かって子ども達も頑張れよというメッセージが含んだようなもの、未来に関する文言もほしいなと思います。今日これと決める訳ではないので、やさしさ、明るさ、未来は入った方が良いでしょうという皆さんの意見をいただきながら、もう一回持ち帰るという形になろうかと思います。他の方はどうでしょうか。どういうイメージをお持ちでしょうか。

委員：①から⑥のフレーズは非常に良いと思いますが、他の市町村のフレーズを参考資料としてつけていただいていたので見たところ、市町村によっては、そのまちの土地の特性というか、キーワード的なものを入れている市町村もあります。入れた方が良いのかどうかというのはまた皆さんのご意見が違うのでしょうか、例えば道南の鹿部町だったら地元の海や山など、京極町なら水のまちなど、地域の特性をキーワードとして文言として入れている市町村もあるので、砂川市は何が良いのかとなるとぱっと出てこないのですが、チームスナガワのブランディングでは、オアシスという言葉も出てきていたはずなので、そういう地域の特性となる言葉も入れて、「～するまち 砂川」としても良いのかなという気がしました。以上です。

会長：砂川の特性、特徴をなんらかの形で入れられないかということで、例えばオアシスという言葉、ということでした。他にございませんか。

委員：今お話がありましたが、砂川はこれから何で食べていくかということ、昔は三井東圧だとか炭鉱だとか色々ありましたが、やはり医療だと思いますので、医療都市だとかという言葉を入れていっても良いのかなと思いました。⑥の「やさしさと笑顔あふれ 未来をひらく医療都市」というように、産業構造みたいなものを入れていくのも良いのかなと思いました。

会長：医療都市ということで、砂川市は医療と福祉で生きていくんだよというメッセージを入れた方が良いでしょうということですね。これは砂川の特徴も入っています。他にございませんか。
今言ったように色んなイメージがあります。キーワードも出ましたし、未来に向かっての思いが伝わるような文章がほしいなと。それと、砂川の特徴あるフレーズはないかということで、オアシスや医療都市というフレーズが出ております。全員の意見を一緒には出来ないのですが、その中で市として向かっ

ていく都市像をもう一度構築するような形で考えたいのですが、他にございませんか。

事務局：実はこのキーワード、目指す都市像は12個出ていますが、実際はもっと出ていたと思います。耳なじみが良い言葉を入れていくと、やはり「輝く」という言葉が良くて何度も使ったのですが、これは6期で使っており、「～にみちた」というフレーズも、5期で使っていました。5期と6期のフレーズにつきましては、⑦から⑫まで考えたのですが、寄せさせていただきました。皆さんにお伺いしたいところは、昔使ったフレーズも、例えば「輝く」といった言葉は聞き触りが良いので、それについては使って良いだろうだかといったところですか。また、⑥については評価をいただいたので、②や⑥を合体しながら、今回は2本程度にしぼってお示したいのと、医療都市などの特徴を入れていくと今18文字から22文字で収まっているのが収まらなくなるので、例えばその下に「～医療都市 砂川」などサブタイトルのように表現しても良いのかなとも思っておりますので、目指す都市像の下にそういう表現をするとどうなのかということも考えながら次回お示ししたいと思います。

まずは、5期と6期で使用した言葉を使うのはどうかということをご決めいただければ先に進めるかと思っておりますので、よろしく申し上げます。

会長：絶対に使っちゃいけないという話にもならないと思うのですが、どうでしょうか。

委員：事務局にお任せします。

会長：とりあえず、皆さんの意見を2つくらいにまとめるということと、そしてサブタイトルは良いですね。他のまちでもついているので、その部分でオアシスや医療都市など砂川市の特徴を表現するものを載せたいということです。そんな形で進めて良いですか。「輝く」はこだわらなくても良いと思います。使いたかったら使えば良いと思います。あまり気にならないと思います。事務局でもう一度精査し候補を絞って、その候補の中から皆さんに次回選んでいただくということで、めざす都市像のフレーズを決めていきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

～ 委員の了承 ～

会 長：ありがとうございました。それでは、そのような形で進めていきたいと思
います。それでは、③その他として、事務局から何かございますか。

事 務 局：ありません。

4. その他

会 長：最後、「4. その他」になりますが、事務局から何かございますか。

事 務 局：次回の審議会についてはまだ日程が決まっていますが、5月末を目途に第
6回の審議会を開催したいと思います。また会長と調整し、早い段階で皆さ
んにもお知らせしたいと思います。

会 長：今日の会議では、基本目標⑥とめざす都市像が次回の宿題となりました。次
回これらについて決定していきたいと思しますので、よろしく願いいたし
ます。以上をもちまして、第5回の審議会を終了させていただきます。あり
がとうございました。